

# ApeosPort-VII C4421 はじめに読む本

## 知りたい情報を探す

まずは、 はじめに読む本	本機の設置手順、本機を安全にお使いいただくためのご注意、トラブル対処、および本体同梱メディア「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの使いかたについて説明しているマニュアルです。	● 本書
詳しくは、 ユーザーズガイド	機械の構成、各機能の設定方法、トラブルの対処方法、および日常の管理について説明しています。	● 弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店で提供
最新情報は、 サポート情報	プリント操作手順、トラブル対処、消耗品などに関するよくある質問を確認できます。 富士ゼロックス公式サイト の [サポート] からアクセスします。	● 公式サイト

## 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをお使いになる前に

### ソフトウェアの使用許諾について

このメディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読み下さい。なお、皆様がパッケージを開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとしますので、万一ご同意いただけない場合には、ご使用されませんようご注意ください。

#### ご使用条件

- 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。
- このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

### 免責事項について

弊社は、使用者がこのソフトウェアを使用することによって発生した、直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の損失等に対して一切の責任も負わないものとします。

## 最新のユーザーズガイドを見る

ユーザーズガイドは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。



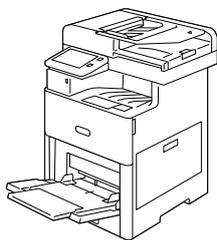
# 本機のセットアップ

💡 ●本機をセットアップする前に、「安全にご利用いただくために (P.5)」をお読みください。

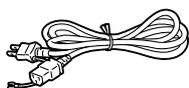
## 1. 同梱物を確認する

●プリンター本体

・ ApeosPort-VII C4421



●電源コード



●「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク

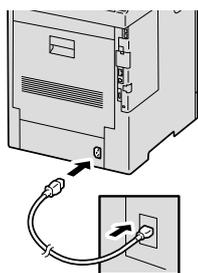


●はじめに読む本 (本書)

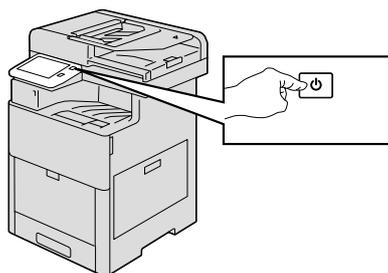
●保守カード

●保証書

## 2. 電源コードを接続する

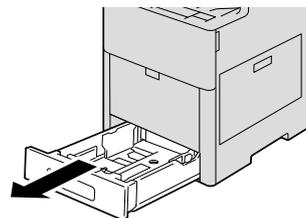


## 3. 本機の電源を入れる

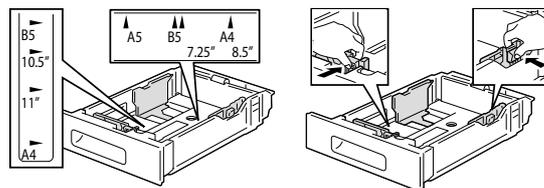


# 用紙のセット

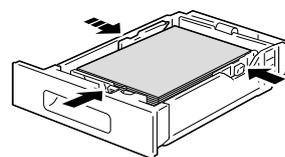
1. 用紙トレイが止まるまで引き出し、用紙トレイの手前を少し持ち上げ、用紙トレイを本体から取り外す



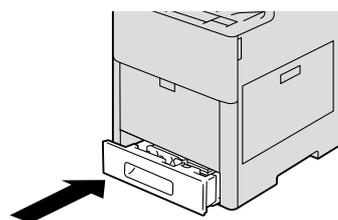
2. 用紙ガイドレバーを用紙サイズに合った位置まで移動する



3. 用紙をよくさばいてから、コピーまたはプリントする面を上にして、用紙トレイに用紙をセットする

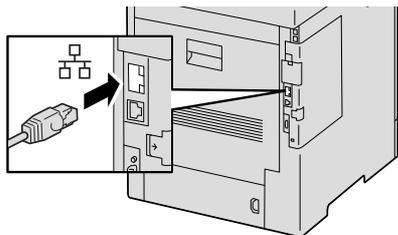


4. 用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入する

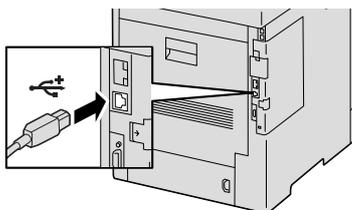


## コンピューターに接続する

### 有線 LAN 接続



### USB 接続



1. 電源/ 節電ボタンを押して電源を切り、ケーブルを接続する
2. 電源/ 節電ボタンを押して、電源を入れる

### 無線 LAN 接続

- 無線 LAN キット (オプション) が必要です。詳しくは、『ユーザーズガイド』を参照してください。

## ソフトウェアのインストール

### Windows®

1. コンピューターに「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをセットする
2. [おまかせセットアップ] をクリックする



3. 画面の指示に従ってインストールを完了する

必要なソフトウェアだけを選んでインストールする場合は、[お好みインストール] を選びます。詳しくは、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

### Mac

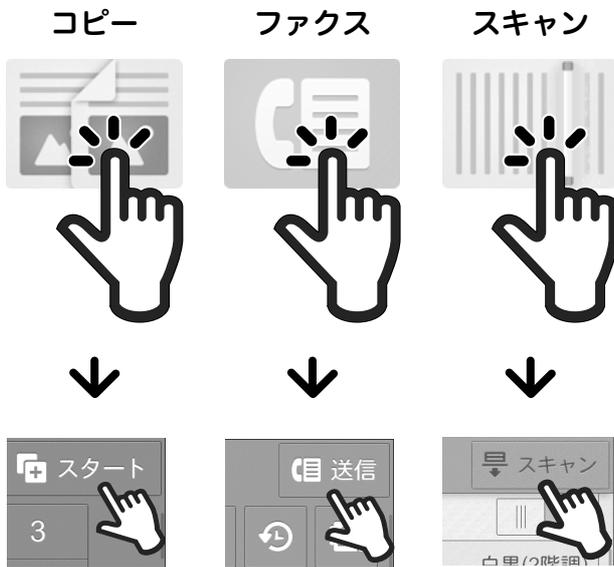
「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの以下の場所に格納されている Mac 用のマニュアルを参照してください。

[Manuals] > [Mac] > [Japanese]

# 主な操作

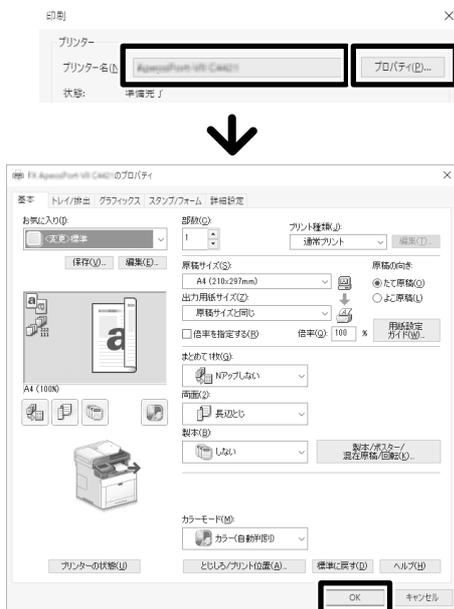
## コピー / ファクス / スキャンする

1. 原稿をセットする
2. 各操作のアイコンをタップし、設定を入力する。

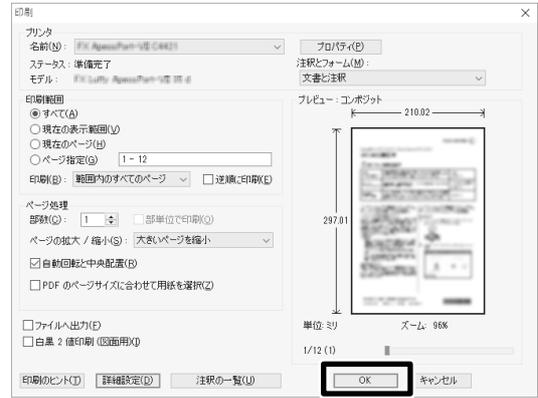


## プリント

1. コンピューターからプリントを指示
2. プリンターを選択し、プロパティを設定して、[OK]



## 3. [OK] をクリック

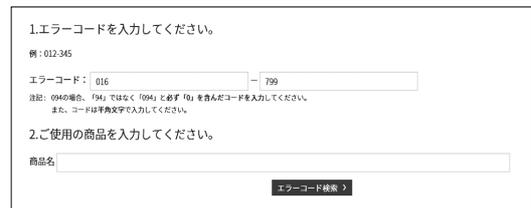


## エラーコードが表示されたときは エラーコードを公式サイトで確認する

1. 富士ゼロックスの公式サイトにアクセスする  
<https://www.fujixerox.co.jp/>
2. ページ上部の検索ボックスにエラーコードを入力して検索する



3. ページ内の指示に従って設定し、[エラーコード検索] をクリックする



# 安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

## 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています。

	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。					
	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。					
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。					
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。							
							
静電気 破損注意	注意	発火注意	破裂注意	感電注意	高温注意	回転物注意	指挟み注意
⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。							
							
禁止	火気禁止	接触禁止	風呂等での使用 禁止	分解禁止	水ぬれ禁止	ぬれ手禁止	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。							
							
指示	電源プラグ を抜く	アース線を接続 せよ					

# 電源およびアース接続時の注意

## 警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事(D種)を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

⚠ 同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

### ⚠ 注意

⚡ 機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

⚡ 機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

⚡ 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

⚡ 連休などで長期間、機械(ファクシミリ機能など)をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。

⚡ 連休などで長期間、機械を使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

⚡ 1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- ・電源コードにきれつや擦り傷などがいないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

## 設置時の注意

### ⚠ 警告

⚡ 機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

### ⚠ 注意

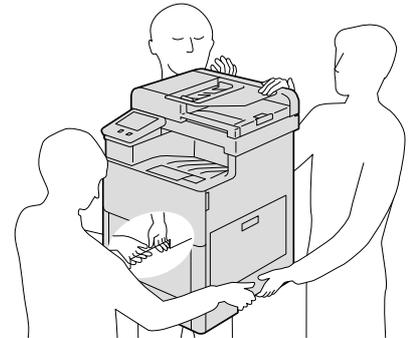
⊘ 以下のような場所には機械を設置しないでください。

- ・発熱器具に近い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・調理台や加湿器のそばなど

⊘ 機械の包装に使用している袋/シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさがり窒息するおそれがあります。

⚡ 機械の重さは34.8Kgです。必ず3人以上で持ち運んでください。

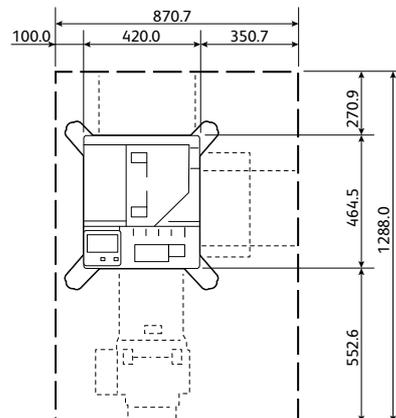
⚡ 機械を持ち上げるときは、腰を痛めないよう、ひざを折り、指示された手かけ部分を持ってから立ち上がるようにしてください。



⚡ 機械は、付属製品を含めた総質量に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

⚡ 機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



単位：mm

❗ 機械を10度以上に傾けないでください。  
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



❗ 機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。  
ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

❗ 機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

### ・その他

❗ 本機器の使用環境は次のとおりです。  
温度：10～32℃  
湿度：85～15%  
ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合や画像読み取りできない場合があります。

## 機械使用上の注意

### ⚠ 警告

❗ 本書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

❗ この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

❗ 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・ 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- ・ 異常な音やにおいがするとき
- ・ 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ プレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・ 機械の内部に水が入ったとき
- ・ 機械が水をかぶったとき
- ・ 機械の部品に損傷があったとき

❗ 機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- ・ 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・ クリップやホチキスの針などの金属類
- ・ 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

❗ 電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

❗ 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

❗ 付属のメディア（CD-ROM、DVD等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

### ⚠ 注意

❗ 機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

❗ 機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

❗ 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のカスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

❗ 換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

❗ 書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

❗ 機械を移動するときは、弊社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

## 消耗品取り扱い上の注意

### ⚠ 警告

❗ 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

❗ こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本製品内およびトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。

掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

❗ トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

❗ トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。



### 定着装置の安全性について

定着装置は分解しないでください。定着装置内に詰まった紙を取り除く場合には弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

### 注意



ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



次の事項に従って、応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。



### 定着装置の安全性について

定着装置を取り外すときには、必ず電源スイッチを切って、30分後、定着装置が冷めていることを確認してから取り外してください。

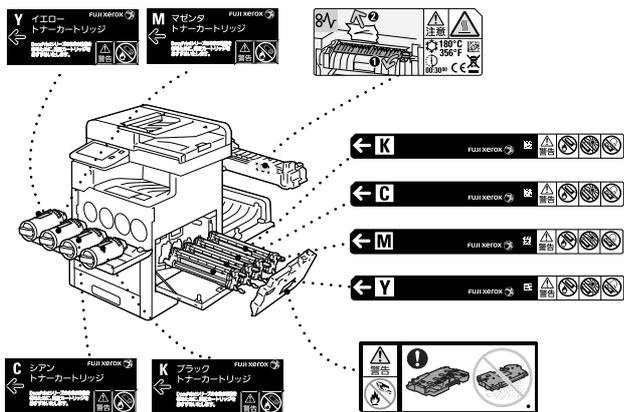
## 警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

ApeosPort-VII C4421



## 規制について

### 警告



本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - 産業・化学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局 (免許を要する無線局)

②特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

- ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局)
- ・特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。



万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室 (ICU)、冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には本装置を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本装置 (ApeosPort-VII C4421) を使用しないでください。
- ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置 (ApeosPort-VII C4421) を使用しないでください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置の無線装置部分から22cm以上離れて携行および使用してください。電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

**!** 埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から12cm以上離れて携行および使用してください。電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

**!** 埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（ApeosPort-VII C4421）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

**!** 本製品から微弱な電磁波が出ています。植込み型医療機器（ペースメーカー等）を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じた時は、本製品から直ちに離れてください。そして、医師にご相談ください。

## 電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラスB 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## 受信障害について

△ 注意

**!** ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

**!** EMI基準への適合を維持するため、本機にはかならずシールドタイプのケーブルを使用してください。

## 高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に準用しています。

## SDS(安全データシート)の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社ホームページにて公開しています。

## 環境について

- ・回収したドラムカートリッジやトナーカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったドラムカートリッジやトナーカートリッジは適切な処理が必要です。ドラムカートリッジやトナーカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- ・粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物(TVOC)の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルのBlue Angelに基づき試験を実施しました。

## 再生紙の利用について

用紙名	用紙質量(g/m <sup>2</sup> )	古紙パルプ配合率
C2r	70	70%
G70	67	70%
FR	64	50%

## サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

# 法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
    - ・ 紙幣 (外国紙幣を含む)、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。  
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
    - ・ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
  2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
    - ・ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
    - ・ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
    - ・ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
    - ・ 役所または公務員の印影、署名、記名。
    - ・ 私人の印影または署名。
  3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
    - (1) 複製  
紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
    - (2) 改変  
紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
    - (3) 送信  
電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。
- ※ 法律に定める例外にあたる場合の例
- ・ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として複製する場合。
  - ・ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
  - ・ 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。  
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

# EP システムを使った 点検・修理の依頼について

EP システムのサービスに加入している場合、弊社のカスタマーコンタクトセンターに本機の操作パネルから点検・修理を依頼できます。

1



2



3



4



サービスに加入していない場合、[EP診断/修理依頼]は表示されません。公衆回線のときは、[点検/修理依頼]になります。

